

CONTENTS

- 女子大・短大女性学研究所のボイス・イン・フォーラム(2面)
- メモリアルフェスティバル 高石ともやさんのフォークとトーク(3面)
- 国際大軟式野球部が西日本選手権で初優勝(4面)
- 滝井高1年生が奈良で英語合宿(6面)



グローバルマインド
 発行/(学)大阪国際学園広報室
 〒570-8555守口市藤田町6-21-57
 ☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
 Eメール:koho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
 大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
 大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

◆ 独白 ◆

大阪国際学園
理事長 奥田吾朗

アカウンタビリティ(説明責任)

教育活動を単に経済活動に擬制することはないが、これを消費という側面から考えると学費は多額。私たちが何かを購入する場合、必要とする機能をただちに入手できるといふベネフィットに対し、あざむき金額を対価として支払っている。通常の消費行為はこれで完結するが、昨今では、販売者はさらに販売後の商品に対する責任をもとより、経済活動全般に関してさまざまな責任を課されているのは周知のとおりである。

この点、教育界は未だ「フレイド」の状態が続く稀有な分野であると言つても過言ではない。本学としても、教育内容が生徒・学生の今後の人生にとってどれだけのベネフィットを提供できているのか、といった社会からの問いかけに対し、明確に説明する本来の責任を負っていることを肝に銘じなければならぬ。

先日、田村哲夫先生は講演の席上、「一面法政経済シンポジウム(以下、アカウンタビリティ(説明責任)がきわめて重要な概念になるであろう)ことを強調された。私もまったく同感である。

国際大「法政経学部」初のシンポジウム 「21世紀の市民をつくる」で基調講演に田村哲夫氏



大阪国際大学の法政経学部は今年、平成4年開設の政経学部をコース設定に即して名称変更した。

法政経学部の名称はわが国で初。それだけに一般社会や高校等に学部理念や教育内容をより理解を深めていただくたいとシンポジウム開催となった。メインテーマに「21世紀の市民をつくる」を掲げ、法政経学部のめざすものとの課題をつけた。多様で幅広い参加者を得たいと大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)を会場に、9月29日午後1時半から開催、約130名が会場を埋めた。

金子敦郎教授をコーディネーターに進行し、奥田吾朗理事長のあいさつに続き、まず田村哲夫氏が基調講演。同氏は渋谷教育学園理事長・校長のほか多摩大



女子大・短大の大学祭。キャンパス内には学生の笑顔が広がった

国際大では協賛イベントに今江氏招く

会が開催され、「文学の世界から見た現代社会」をメインテーマに、3日には児童文学者・今江祥智氏をゲストに迎えたほか、本学教授による講演が行われた。

女子大・短大の大学祭・優待祭2000は、10月28日、29日に開催された。今回のテーマは「Take it easy」。気軽に誰もが参加できるようにしようという願いから、このテーマがつけられた。

クラブやゼミ仲間の模擬店、フリーマーケットなども出されてキャンパス内に歓声が響きわたった。また、学長杯バレーボール&バドミントン大会や全学 English Speech Contestも行われた。28日には国際コミュニケーション学科が、ふろしき研究会代表の森田知都子さんを講師に招いて、「包む」こころ〜風呂敷と日本文化〜をテーマに講演会を実施し、一般市民をはじめ多くの参加者を得た。

女子大・短大も国際コミふろしき研究者招く

河本麗さん(女子大スポーツ行動学科2回生) バントワング世界選手権で活躍

現在、水野啓子ノブンスクールに所属している河本麗さんがこの夏(8月)、オランダで開催された世界バントワング選手権に日本代表選手として出場した。「緊張してうまく踊れなかったこともあったが、踊りきったときは涙が出た」と外国選手の華やかさ、美しさに劣らず見事7位。おめでとう。河本さんは、この他、国内の数々の大会で優勝経験があるばかりでなく、多くのイベントに招待されて活躍している。



河本麗さん(女子大スポーツ行動学科2回生) バントワング世界選手権で活躍

花創意工夫をこらして 咲いた大学祭・文化祭

秋の恒例イベントであり、学校行事の中でも学生・生徒にとって最大のイベント、大学祭、文化祭。こども各キャンパスでそれぞれ行われ、若者たちのパワーが爆発。地域の住民や父母らもたくさん参加し、会場いっしょにお祭りムードが漂った。

国際大は11月4日、5日に大学祭を開催。こどもは第13回目を迎え、5日に人気お笑いタレントのFUJIWARAなど本学にきて、大いに笑わせてくれた。また、3日、軽音楽部によるライブや、ホットドッグや焼きそばなどの模擬店がでて、4日には大学祭協賛の図書館講演

会が開催され、「文学の世界から見た現代社会」をメインテーマに、3日には児童文学者・今江祥智氏をゲストに迎えたほか、本学教授による講演が行われた。

女子大・短大の大学祭・優待祭2000は、10月28日、29日に開催された。今回のテーマは「Take it easy」。気軽に誰もが参加できるようにしようという願いから、このテーマがつけられた。

クラブやゼミ仲間の模擬店、フリーマーケットなども出されてキャンパス内に歓声が響きわたった。また、学長杯バレーボール&バドミントン大会や全学 English Speech Contestも行われた。28日には国際コミュニケーション学科が、ふろしき研究会代表の森田知都子さんを講師に招いて、「包む」こころ〜風呂敷と日本文化〜をテーマに講演会を実施し、一般市民をはじめ多くの参加者を得た。



滝井高校の文化祭。吹奏楽部の演奏に教諭も登場(右端の3名)



大和田高校の文化祭でも生徒らのパワーが爆発

国際大・女子大(共学化)の統合による新生国際大 事前確認のため文部省に概要提出 来年4月末の認可申請に向け第1歩 “社コミ”を心理コミュニケーション学科へ

平成14年春から大阪国際女子大学を共学化し、大阪国際大学に統合する改組転換計画は、来年4月末に申請する予定。そのための諸準備を急いでいるが、この計画は、女子大の教員組織や施設、設備等を基本に国際大に人間科学部設置を目標としており、「大学の設置等の認可の申請手続き等に関する規則」第6条に基づく改革案。そこで、計画そのものが第6条に該当するかどうかを事前に確認してもらうため、10月23日付で奥田吾朗女子大学長名による「大阪国際大学人間科学部の設置計画」概要を文部省に提出した。

なお、人間科学部4学科のうち社会コミュニケーション学科について、教育内容を学科名により明確に反映させるため「心理コミュニケーション学科」に名称変更を予定。

第9回目を迎えた大和田高校の文化祭は10月7日、8日に開催。テーマは「世紀末だよ。全員集合」。7日には奥田メモリアルホールで、ブラスパンド部やフットボール部の演奏や歌のほか、演劇部による劇などが披露された。8日はワッフルや焼き菓子などの模擬店が出されたほか、PTAによる恒例のバザーなどもあり、大いに盛り上がった。

大和田中学は高校より一足はやく9月23日に文化祭を開催。第6回目となる今年のテーマは、「Thanks to Everyone and Everything」。私たちに元気をくれるすべてのものに、感謝する意味からこのテーマがつけられた。

奥田メモリアルホールを舞台に、各クラスのコーラスや演劇、有志による漫才やダンスなどが披露された。

盛り上がりを見せたメモリアルフェスティバル。写真左から2人が高石ともやさん



華やかに「奥田メモリアルフェスティバル」

高石ともやさんのフォークとトーク

学園と近隣住民をつなぐイベントとして、毎年開催している奥田メモリアルフェスティバルが、11月8日、奥田メモリアルホールで開かれた。

学園と近隣住民をつなぐイベントとして、毎年開催している奥田メモリアルフェスティバルが、11月8日、奥田メモリアルホールで開かれた。

高石ともやさんは健康な心と身体で仕事と遊びと家庭のバランスのとれた暮らしを提唱する「ウエルネス運動」の実践者として「Talk & Folk」(話とギター)

高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」

応募作減少だが、顔が見える力作ぞろぞろ

6月上旬に全国の高等学校(約4,400校)へ応募要項の発送と、毎日新聞紙上において告知や広告を掲載してきた高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」の応募が9月30日に締め切られ、全国から969編の作品が寄せられた。

170名参加で活気

国際大で9月23日、1から3年次生の保護者を対象に保護者懇談会が開催され、170名の保護者が参加された。

国際大で初の保護者懇談会

留学、奨学金などの紹介コーナーも



大講義室で開かれた保護者懇談会。会場には多数の保護者が参加された

前期の成績通知書をもとに卒業進級要件についての説明があり、3年次生の保護者には、就職活動に関する説明会が行われた。

短大幼児教育科の杉山太郎教授に

レクリエーション運動普及振興功労者表彰

短大幼児教育科の杉山太郎教授が、平成12年度のレクリエーション運動普及振興功労者表彰を受賞し10月27日、群馬県総合スポーツセンター(ぐんまアリーナ)で行われた表彰式に出席した。

指導者養成の課程認定制度を採用している。表彰式は、第54回全国レクリエーション大会の総合開会式の中で執り行われた。

学研都市6大学 初の市民公開講座

国際大・東野助教が講演

関西文化学術研究都市6大学連携の「市民公開講座」が10月21日、11月4日、18日の3日間、けいはんなプラザ交流棟(京都府・精華町)で開催され、国際大の東野裕人法政経済学部助教が第3回の11月18日に、「戦後日本型システム再考」と題して講演を行った。

国際大会会場に

ひらがな漢字選手権

日本に漢字を伝えたとされる王仁博士の墓「伝王仁墓」にちなんで、「漢字の町」としてアピールする枚方市の漢字選手権が11月12日、大阪国際大学(後援)で開かれた。

昨日は千文字漢字大会も同時開催されたほか、ミニ漢字検定コーナーや模擬店なども開かれ、秋晴れの好天のもとキャンパスは約500名ほどでにぎわった。

6/26	国際大	毎週月曜日の昼休みに「焼きたてのパン」が販売(長尾台商店街のFresh Bakeryファーストが出品)
6/26	短大	家政科課外講座(講師は関西電力株式会社守口営業所副所長の堂路秋正氏)
6/26	滝井高	ホームページが公開(アドレスhttp://www.takii-h.oiu.edu.jp)
6/30	国際大	学園
6/30	国際大	学園
7/1	女子大・短大	大和田高
7/6	女子大・短大	大和田高
7/7	女子大・短大	国際大
7/8	国際大	学園
7/10	滝井高	学園
7/13	短大	学園
7/15	国際大	学園
7/19	女子大・短大	大和田高
7/20	女子大・短大	大和田高
7/22	女子大・短大	大和田高
7/23	滝井高	大和田高
7/29	滝井高	大和田高
7/29	大和田中・高	大和田高
7/29	短大	学園
7/30	大和田中・高	大和田高
7/30	大和田高	学園
8/1	女子大・短大	学園
8/1	女子大・短大	学園
8/5	滝井高	学園
8/7	国際大	学園
8/10	国際大	学園
8/19	大和田中・高	大和田高
8/21	女子大・短大	大和田高
8/22	女子大・短大	大和田高
8/23	短大	学園
8/24	学園	学園

ヘッドラインニュース

8/26	女子大・短大	合唱部「ひまわりコンサート」(守口老人保健施設ラガール)
8/30	滝井高	大和田中・高
8/30	女子大	学園
8/30	女子大	学園
8/30	女子大・短大	短大
9/3	女子大・短大	短大
9/4	女子大	学園
9/6	女子大・短大	学園
9/7	国際大	学園
9/8	国際大	学園
9/9	女子大・短大	学園
9/9	滝井高	学園
9/10	短大	学園
9/23	女子大	学園
9/23	女子大・短大	学園
9/29	女子大	学園
10/6	短大	学園
9/29	短大	学園
9/30	滝井高	学園
9月	女子大	学園
9月	短大	学園
10/2	国際大	学園
10/7	女子大・短大	学園
10/11	短大	学園
10/13	短大	学園
10/14	大和田中・高	学園
10/20	女子大・短大	学園
10/21	国際大	学園
10/25	短大	学園
10/25	女子大	学園
10/26	学園	学園
10/28	学園	学園
10月	国際大	学園

国際大 平成12年度 学業優秀者

- 容子(以上経緯4) ▼福田正智 ▼井上知美 ▼河野恵梨子 ▼中野亜紀 ▼西尾 篤 ▼大野兼一(以上同3)
- ▼馬場有可理 ▼細川 圭 ▼桐畑剛士 ▼永井裕也 ▼中村政弘 ▼渡邊一樹(以上同2) ▼平田洋介 ▼森澤旭喜 ▼西川輝彦 ▼野口 愛 ▼坂寄利国 ▼大本聖士(以上同1)
- ▼原田亜由子 ▼笠原和歌子 ▼小島純香 ▼鈴木麻美 ▼田中周志 ▼古田敦(以上同3) ▼古川智子 ▼前原西子 ▼水谷智成 ▼武内靖之 ▼鳥生佳嗣 ▼辻 祥江(以上同2)

国際大 軟式野球・水泳・ラグビー

AO入試で3クラブ活性化

健康スポーツ科学の教員より、現在かなりの実績を上げて来ている軟式野球・水泳・ラグビーの3クラブを中心に部活動の活性化を図りたいが入試の段階で何か工夫できないか、との提案

があった。

入試委員会で検討を重ね、まずAO入試実施の方針を出し、今年度は13年度入試に向けてとりあえずAO入試(スポーツ特別推薦)の形で募集することにし、各高校に通知すると共に学校訪問を重ね学生募集に力を入れて来た。選抜は各顧問等の推薦のほか、面接と調査書の総合判定で行うことにし一般推薦の日に併せ、法政経学部は11月28日に経営情報学部は11月29日に実施した。

平成13年度の結果を見て、平成14年度からのAO入試をさらに充実したものに行きたいと考えている。今年度の学生募集状況は極めて

て厳しく、業者主催の各地での大学入試相談会においても例年

にない入場者数の減少、本学ブースへ相談に来る学生の少なさに寂しい思いをすることも多い。推薦入試に向けては、指定校を中心に確実に受験し入学してくる学生の確保に力を入れ、AO入試、スポーツ特別推薦の成果も期待している。

中島 是美)

女子大・短大

指定校推薦に検定料免除ほか

より志願者ニーズに対応

少子化による高等教育機関への進学者数の減少、中学・高校教育制度の多様化等を受けて、各大学では学生募集に関してさまざまな工夫がなされている。その中において、本学では是非学びたいという志願者を積極的に迎え入れるため、その趣旨に添った学生募集活動を前年度以

上に展開した結果、お陰様でキャンパス見学会には昨年度の1.5倍の高校生が見学に訪れ、施設見学や学科内容の説明、入試情報に真剣に聞き入っていました。この状況から21世紀幕開けとなる平成13年度入試には大きな期待を寄せるとともに、更に気を引き締めて努力していく所存ですので、今後とも関係各位のご協力をお願い申し上げます。

「推薦入学選考Ⅱ期」につきましては、地方入試を実施いたしますが、昨年度に実施した名古屋会場を取り止め、広島会場、高松会場と高知会場を追加いたしました。

経済的な問題で進学を躊躇している生徒に対しては、奨学生推薦入学選考(11月)に加えて、奨学生入学選考(2月)を実施し、奨学生として採用された場合は、基準に応じて授業料の全額、半額、1/4相当の奨学金を給付いたします。「一般入学選考」につきましては、試験場が本学のみとなった場合は昨年度と変更はありません。

また、同部は11月10日から14日まで、滋賀県の彦根球場等で行われた西日本大学軟式野球選手権大会に出場した。この大会には、西日本地区の代表17大学が参加し、本学は2回戦高松大学、3回戦金沢学院大学、準決勝大阪学院大学、そして決勝戦で奈良産業大学に快勝し、見事優勝を飾った。

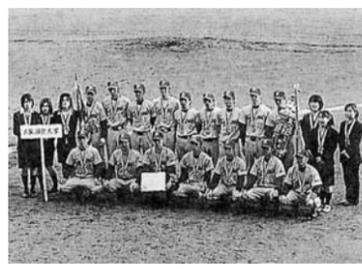
国際大の軟式野球部が8月12日から16日、神奈川県伊勢原市総合運動公園野球場等で行われた第23回全日本大学軟式野球選手権大会に出場し、惜しくも2回戦敗退。全日本大学軟式野球連盟主催の大会で、全国から23大学が参加。本学は、1回戦大東文化大学を下したものの、淑徳大学に敗れ3回戦進出はならなかった。

国際大軟式野球部が健闘

全日本選手権に堂々の出場

西日本選手権はみごと優勝

対する真摯な取り組みと、日頃からの研鑽の賜物であり、当クラブの活躍は、課外活動全体の活性化にもつながっている。同部は西都大学軟式野球連盟1部リーグに属しており、これまでリーグ優勝や全日本大学選手権でベスト4など数多くの輝かしい戦績を残している。



西日本大学選手権大会で初優勝の国際大ナイン

なお、本グローバルマインドをお読みいただいている大阪国際女子大学、大阪国際女子短期大学(旧帝國女子大学・帝國女子短期大学)をご卒業された皆様や在籍されている皆様の姉妹・ご息女が、本学を受験され

場合は、どの入学選考種別であつても入学検定料を免除することとなっておりますので、紙面をお借りいたしましたこと案内申し上げます。

(大阪国際女子大学・短期大学 募集広報室長 小林 弘二)

国際大吹奏楽部の堀尾さん

シドニー五輪の感動にひと役

国際マーチングバンドの二員として開会式に出演

国際大吹奏楽部の堀尾俊仁さん(政経学部4年次生)が、国際マーチングバンドのメンバーとして、9月15日に行われたシドニー五輪の開会式に出演した。

国際マーチングバンドは、日米豪などの世界20カ国の学生約2,000名で編成され、日本からは関西学生吹奏楽連盟加盟22校の学生約190名が参加し

た。堀尾さんを含む同連盟のシドニー派遣団は、8月30日に大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)で壮行演奏会を開催し、9月2日に日本を出発。同4日にはシドニーで、日米豪の参加学生による合同演奏会に出演した。

国際大吹奏楽部は、10/6~8 第76回日本学生選手権水泳競技大会100m・200m背泳ぎに川瀬友樹さん(法政経)が出場

女子大・短大 ソフトボール部 ・9月11日 関西学生女子リーグ戦1部リーグ 6位

平成13年度 入試日程 学生・生徒募集要項

選考種別	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
修士課程	経営情報学研究科 二次	平成13年2月1日(木)~2月3日(木)	2月20日(火)	2月26日(月)~3月5日(月)
博士(後期)課程	経営情報学研究科のみ	平成13年2月1日(木)~2月3日(木)	2月20日(火)	2月26日(月)~3月5日(月)

選考種別	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
A方式	平成13年1月5日(金)~1月24日(水)	法政経学部 2月1日(木) 経営情報学部 2月2日(金)	2月8日(木)	2月9日(金)~2月20日(火)
センター試験利用選考一次		独自試験は行わない		
B方式	平成13年2月8日(木)~2月22日(木)	法政経学部 2月27日(火)~2月28日(水) 経営情報学部 2月27日(火)~2月28日(水)	3月5日(月)	3月6日(火)~3月13日(火)
センター試験利用選考二次	平成13年2月28日(水)~3月3日(日)	法政経学部 3月14日(水)~3月15日(木) 経営情報学部 3月14日(水)~3月15日(木)	3月19日(月)	3月21日(水)~3月27日(火)
C方式				
留学生入学選考	★国際交流課までお問い合わせください。電話(072)353-9545(国際交流課直通)			

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)	
推薦	推薦選考Ⅲ期	平成12年12月4日(月)~12月13日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)~1月10日(水)	
一般	一般選考1期	平成13年1月9日(火)~1月16日(火)	選考日選択 1月20日(土)~1月21日(日)	1月26日(木)~2月2日(金)	
一般	一般選考Ⅱ期	平成13年2月14日(水)~2月23日(金)	2月28日(水)	3月2日(金)~3月12日(月)	
奨学生	奨学生選考	平成13年2月14日(水)~2月23日(金)	2月28日(水)	3月2日(金)~3月12日(月)	
社会人	社会人選考	平成13年2月14日(水)~2月23日(金)	2月28日(水)	3月2日(金)~3月12日(月)	
その他	留学生選考	★国際交流課までお問い合わせください。電話(06)3907-4306(国際交流課直通)			

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
推薦	推薦選考Ⅲ期	平成12年12月4日(月)~12月13日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)~1月10日(水)
一般	一般選考	平成13年1月9日(火)~1月16日(火)	1月20日(土)	1月26日(木)~2月2日(金)
その他	社会人選考	平成13年2月14日(水)~2月23日(金)	2月28日(水)	3月2日(金)~3月12日(月)

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
推薦	推薦選考Ⅲ期	平成12年12月4日(月)~12月13日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)~1月10日(水)
一般	一般選考	平成13年1月9日(火)~1月16日(火)	1月20日(土)	1月26日(木)~2月2日(金)
その他	社会人選考	平成13年2月14日(水)~2月23日(金)	2月28日(水)	3月2日(金)~3月12日(月)

推薦	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
大阪国際滝井高等学校	普通科 アカデミックコース(標準) クローバルコース(国際) エクセレントコース(特進)	平成13年1月29日(月)~2月3日(土)	2月9日(金) 2月10日(土)	2月13日(火) 2月19日(月)
大阪国際大和田高等学校	普通科 国際・教養コース 英数コース	平成13年1月29日(月)~2月5日(日)	2月9日(金) 2月10日(土)	2月13日(火) 2月15日(木)
大阪国際大和田中学校	一次	平成13年1月6日(土)~1月13日(土)	1月14日(日)	1月15日(月)
	二次	平成13年1月6日(土)~1月13日(土)	1月15日(月)	1月16日(火)
	三次	平成13年1月15日(月)~1月18日(木)	1月18日(木)	1月19日(金)

「公募推薦入学選考」前に実施する特別推薦につきましては「指定校推薦入学選考」と学力検査に代わり「スポーツ」・「文化・芸術」等の分野での活動実績・技能等を評価する「特別推薦入学選考」に分けて学生募集要項に明記し実施します。高等学校との信頼関係で成り立つ「指定校推薦入学選考」につきましては、高等学校が本学を理解し特別に生徒を推薦いただくもので、入学検定料免除等の特典を付与することといたします。

「公募推薦入学選考」につきましては、昨年度の2回実施から3回(推薦Ⅰ期・Ⅲ期(専願)、推薦Ⅱ期(併願))に回数を増やし受験機会を拡大いたしました。

国際大吹奏楽部の堀尾俊仁さん(政経学部4年次生)が、国際マーチングバンドのメンバーとして、9月15日に行われたシドニー五輪の開会式に出演した。

国際大吹奏楽部は、10/6~8 第76回日本学生選手権水泳競技大会100m・200m背泳ぎに川瀬友樹さん(法政経)が出場

女子大・短大 ソフトボール部 ・9月11日 関西学生女子リーグ戦1部リーグ 6位

バスケットボール部 ・8/25~9/3 関西女子学生バスケットボール2部リーグ

国際大吹奏楽部は、10/6~8 第76回日本学生選手権水泳競技大会100m・200m背泳ぎに川瀬友樹さん(法政経)が出場

女子大・短大 ソフトボール部 ・9月11日 関西学生女子リーグ戦1部リーグ 6位

バスケットボール部 ・8/25~9/3 関西女子学生バスケットボール2部リーグ

ようやく脱したか就職氷河期

依然厳しい今年の就職戦線

国際大

求人倍率は、0.99倍から1.09倍へと上昇に転じた。本学への求人票も昨年より増加し、今も途切れることなく毎日

頂戴している。就職協定廃止後、はや4年、インターネットの就職環境が整い、就職戦線のスタートは一段と早まった。本学ではそれらに対応するため、3年次の7月初旬に「就職の手引」の配布と媒

体誌への登録をさせ、夏休みを返上して就職準備をするよう指導した。インターネットについては、本学情報教室を利用し9月に就職ナビへの登録指導、11月にはまだ使いこなせない学生に対し、

4月から5月にかけて短期決戦の厳選採用、質を重視、予定人員未達でも終了する会社が増えた。不足する数は中途採用でと、欧米型雇用が進行している。就職活動は、最後は自分自身がどう取り進むかにかかってくる。良い子ぶっても圧迫面接すれば

直ぐ化けの皮が剥れる。勉強、普段の態度、資質、全てが面接官の前では裸になる。大学3年間どう暮らしてきたのか、大学生と後ろにいる大学の教育そのものが問われている。残念ながら、内定のない学生は、コミュニケーション能力が劣っている。重複内定者の共通点は、どんな面接官の質問にも自信をもって語れる人である。内定するまでしっかりやる。内定が無い学生は、就職室に足を運べばいつでも就職斡旋する。どんな些細な質問でもじっくり聞くので納得いくまで話し合おう。

(大阪国際大学 就職課長 上西 一朗)

立ち止まらず、前進すること

“あっ”と言う間です。卒業して、もう3年が経ちました。会社勤め、東京、一人暮らし、初めて尽くして、とまどいながら始まった社会人生活の毎日が、いつの間にか見慣れた日常へと変わってしまったような気がします。この記事の依頼を受けて、そんなことをまず考えました。

僕はSEをしています。今は特に、稼働しているシステムの保守・運営を担当しています。サポートエンジニアと言う方が正しいかもしれませんが、どんな職業についても同じですが、仕事は大変です。何事をするにしても、「まだまだ、自分の力は足りないんだなあ」と思い知らされます。その“まだまだ”を少しでも解消しようというのが、当面の目標です。

右を向いても、左を向いても壁だらけ。先に目を向ければ向けるほど、迷路に迷い込んだ気がします。方向はわかりません。どちらに向かえば、正しいのか、間違っているのかは不明です。ただ、とりあえず歩こうと思います。立ち止まっても仕方がないと思うようになりました。

先は長いですが、ですが、振り返った時間を考えると、“あっ”と言う間かもしれないと思える、3年目の正直な感慨です。



大阪国際大学経営情報学部
日本電子開発株式会社
システム事業本部
森 勇人 98年卒

OB・OGレポート

「素直な心を持つ」こと

私は現在、松下電器健康保険組合の保養所に勤務しております。サービス業なので交代制の勤務で、休みも主に平日なので学生時代の友人にはなかなか会う事ができません。

仕事内容は、宿泊予約などの電話応対やフロントでの接客が主です。毎日たくさんのお客様と接しているのが色々勉強になります。

例えば、私がプライベートや仕事において不安を抱えている時、それが伝わるのか、周囲の人達に迷惑をかけ、お客様にも伝わるかもしれないことを考えるとやはり仕事には前向きに自信をもって向かって行くべきだと学びました。できない事を頭からできないと言うのではなく、できるようにするにはどうしたらお客様にとって喜んでいただけるかを考えます。

いろいろ大変な事もありますが、お客様が帰られる時「ありがとう」と言葉をいただいたり手紙など送って来てもらったりするとうれしく思いますし、またやり甲斐を感じます。

私が常に心掛けている事は、「素直な心を持つ」ということです。上司に注意された時、それを“嫌だなあ”と思うのではなく“自分のために言ってくれているんだ”と思えば自分自身成長していくと思います。

これから長い人生まだまだ大きい壁にぶつかりますが、乗り越えていけるよう頑張りたいと思います。



大阪国際女子短期大学国際文化学科
国際ビジネスコース 97年卒
松下電器健康保険組合
北尾 真以

進路相談室の悩み

女子大・短大

昨日、無業者やフリーターという言葉が新聞紙上などをよく賑わしているが、新卒者に関し

て言えば、無業者とは「卒業時点で就職も、進学もしていない者」のことであり、フリーターは文部省の調査用語(学校基本調査)では、「一時的な仕事に就いた者」のことを指し、フリーターの数は無業者に含まれている。

学校基本調査によると平成12年3月の卒業生に対する無業者の率は36.1%(四大女子)、34.6%(短大女子)で、実数では約13万人に上る。無業者の

中には大学、短大を卒業後、専門学校に進学した者や公務員試験に再チャレンジするため意図的に無業者になったと思われる者も含まれているが、無業者の実態は「一時的な仕事に就いた者」以外に就職未決定者や近年増加している全く就職活動をしなかつた者がフリーターになっている場合も多くと考えられる。また、首尾よく就職できても3年以内に離職する者が大学、短大卒業生のそれぞれ約30%、約40%いることは併せて

利休 茶室の謎

創元社



元大阪国際女子短期大学
国際文化学科助教授
瀬地山 零子(故人)著

れた。その提案準備の中で、利休が作った現存する唯一の茶室京都山崎の妙喜庵に残っている「待庵」と出会う。そこに、日本の伝統美という「単層」の美意識からでは読み解けない、なにか「異風」を感じ始める。それは、茶室日本伝統文化の結集という既成観念への疑問である。個々のパーツは、伝統文化で説明できても、著者の鋭い感性は、全体としてのバランス、



バランスから、庵を構成する各パーツに至るまで、切れ味鋭く解明されていく。また、朝鮮半島に住んだソンビと言われる清貧楽道を目指した人達の住居及びその精神と、待庵を制作した利休の世界観に類似性を見出す箇所は非常に興味深い。仮説の象徴として、随処に隠し味として、むくげの花がほのかに薫ってくるのがうらやましい。幾多の検証を経た結論として「朝鮮の建築物に流れている美意識は、韓国のみならず東アジアを覆う思潮の一つなのである。」利休の造形の斬新さを、そうした東アジアを覆う思潮の中で見る。との新鮮な提言を述べている。

美しさはそれでは、説明できないと感じる。ここから、この疑問を解くためのあくなき挑戦が始まる。読む者には、謎解きの興味をそそり、推理小説のように展開していく。著者は「異風の仮説」の原点を、今までのれも指摘しなかつた韓国に求めるとも言える。現在、著者は京田辺市の一休寺に永眠されている(評者：大阪国際女子短期大学 国際文化学科教授 大佛 健一)

定」を獲得できるようなサポート体制の強化を早急に図る必要性がある。今年度、就職室から進路相談室と名称が改められ、就職希望者だけでなく、学生全体の進路が対象になったが、フリーター予備軍への効果的な対策や指導は見出せていない状況である。(大阪国際女子大学・短期大学 進路相談室課長 定國 通雄)

6回目の生涯健康講演会は「肥満治療」女子大・短大生涯健康研究所主催の「生涯健康講演会」が11月29日、奥田メモリアルホールで行われた。本学の健康関連学科学生の能力向上、近隣住民への生涯教育の機会提供などを目的に開かれ、今年で6回目を迎えた。今回は、「肥満治療の最前線」をテーマに、京都府立医科大学付属病院内分科・糖尿病・代謝内科科長の吉田俊秀氏を講師に招いて講演が行われた。

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学

大学院 経営情報学部 法政経学部 留学生別科

- 12.22 後期授業終了
- 平成13年
- 1.11 後期補講(～17)
- 1.22 後期試験(～31)
- 2.5 集中講義(～16)
- 2.19 後期追試験(～20)
- 3.23 卒業証書・学位記授与式

大阪国際女子大学

人間科学部社会コミュニケーション学科・人間健康科学科
国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科

大阪国際女子短期大学

家政科・幼児教育科・国際文化学科

- 12.18 後期中断
- 12.19 集中講義・補講(～22)
- 平成13年
- 1.9 後期再開
- 1.15 後期終講
- 1.16 後期試験(～31)
- 2.13 追・再試験(～16)
- 3.14 卒業証書・学位記授与式
- 3.15 卒業証書授与式

大阪国際滝井高等学校

- 12.7 期末考査(～13)
- 12.22 終業式
- 平成13年
- 1.9 始業式
- 1.20 選抜カルタ会
- 1.31 3年授業終了
- 2.2 1、2年マラソン大会
- 2.22 卒業式
- 3.2 学年末考査(～7)
- 3.23 終業式
- 3.24 2年学習合宿(～27)

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 12.6 期末考査(～12)(高校)
- 12.8 期末考査(～12)(中学)
- 12.22 終業式
- 平成13年
- 1.9 始業式
- 1.20 カルタ会(高校)
- 1.25 カルタ会(中学)
- 1.31 英語暗唱弁論大会(高校)
- 2.15 英語暗唱大会(中学)
- 2.18 1、2年スキー実習(中学)
- 2.21 コーラス大会(高校)
- 2.21 3年学年末考査(～23)(中学)
- 2.28 卒業式(高校)
- 3.5 学年末考査(～9)(高校)
- 3.7 1、2年学年末考査(～9)(中学)
- 3.10 卒業式(中学)
- 3.16 3年海外研修(～27)(中学)
- 3.21 終業式

大阪国際大和田幼稚園

- 12.3 作品展
- 12.20 クリスマス会
- 12.22 終業式
- 平成13年
- 1.9 始業式
- 2.24 生活発表会
- 3.3 お別れもちつき大会
- 3.16 保育修了授与式
- 3.19 終業式

電子メール座談会「O-U卒業生による世界を架ける若き起業家たち」

「自営・起業の夢と現実」③

参加者 小野郷司さん (有)プランエコー代表取締役
高野和憲さん (株)関西ビルトパーツ代表取締役
西垣 充さん Sanay Media Co., Ltd 相談役
(いずれも国際大経営情報学部卒)

司会 広報室

(司会) 自営をやつてよかった、と思うのは、どんな時ですか？
(高野) 「やつてよかった」とあらためて聞かれると難しいかもしれません。金銭的にも時間的にも多少は自由がきく事くらいでしょうか。あとは、努力したことが直接反映されることくらいかな。今は余り思いつかないです。(ゆづり) 考えてみます。
(小野) 僕も、時間に融通がきくことでしょうか。それと、今の仕事をしたいなれば知り合えなかった人がいっぱいいます。
(西垣) ミヤンマーでは色々問題点がありますが、また未成熟な市場です。素人の私でも色々できます。例えば大手フィルムメーカー社をスポンサーにしたコンサート。この企画から手配までしました。日本では未経験の若者にこんな大それたことは決してさせないでしよう、できないです。まあ利益は薄いですが、ただ町中に自分が企画したポスターが貼られ、コンサート会場が満員なのを見れば、やつてよかったと思えました。その後この影響もありヤングのフィルム市場が変化を遂げたのを見ると、やはりやり甲斐があります。
このコンサートに限らず、マーケットが小さいということもあり、何かやればすぐその反応が見えるというのが、やりがいにつながり、それがあからさま、このミヤンマーで仕事をするのです。日本ではなかなか二人で変えるというのには難しいですが、ここではこんな私でもミヤンマーという国に影響を与えられるのです。
(司会) では、みなさんの今の目標を教えてください。
(西垣) 仕事に関しての今の目標は、現在立ち上げたインターネットによる旅行販売及びホームページの広告販売を早く軌道に乗せていくことです。そしてよく知られていないミヤンマーの姿を、世界中の人々に紹介していきたいと思っています。まあ自己満足ですが。(高野) 今の目標と言いますと、公害防止工場の設置。この不況を勝ち組で残ること、この業界に新しい方向性を

明け暮れている学生がいるけど、あんなの信じられない。働くなで、卒業したらずつとやんなきゃいけないのに。
(司会) 最後にみなさんが学園(あるいは大阪国際大学)に望むことは？
(西垣) いわゆるベンチャー大学なので、から、小回りがきき、独自固有の特徴を持つて欲しい、他校がまだ試みていない企画などをどんどん進めて欲しいと思いたい。
(小野) 学生がやろうとするのを阻害するような要因にならないようにしてほしいと思う。
(高野) 私が学園に望むのは、教職員のための学園ではなく、あくまでも学生のための学園であつてほしいことです。何事にも前向きに進もうとする学生たちの意見が確実に反映されるような大学であつていただきたいです。
(司会) ありがとうございます。

与えること。1年以内に売り上げを200%にすること。(可能性はあると信じております)。
また、まずは大阪府下でトップになつて、いつかは全国的に顔になること。大阪新地のクラフの常連になること(今はラウンジくらいで)。早く家に帰つて娘と一緒に風呂に入るようにすること。etc... いっぱいありますね。
(小野) リゾートアイランドを二つ買収すること。僕の唯一尊敬する人はヴァーキングループのリチャード・プランソン会長です。
(司会) 起業を志す学生は、学生のうちに何をすべきかと思いませんか？
(西垣) とにかく学生の時にしかできないことをすべきだと思います。今後はインターネットで代表されるように、ますます国家間のポータル化が進展するでしょう。できれば学生の間に長期海外に出られることをオススメします。卒業するとなかなか長期海外に出ていく機会が得にくいと思えます。
(高野) よく遊び、よく遊び、よく遊び、たまには学んで、時間を有効に使いましよう！西垣さんのおっしゃるとおり、学生の時にしかできない事をめえいっばいやりましょう！長期海外外へはおすすめます。友人であれ誰であれ、多くの人たちと接する機会を持ち、つきあいを大事にする事を学ばれるのも良いかもしれません。そのために、遊びましょう！
遊ぶといつても、家でPS2などで時間をつぶさないように！
(小野) おもしろくない授業は「おもしろくない」と言わなく。ただ、だめだめと言うのではなく、どうしておもしろくしようかを、提案しない。なんでも与えられたそのまます受け取るのではなく、自分を変えていくという気持ちで取り組んだ方が、第おもしろい。ゼミでも、挑発して自分でおもしろくしたい。ケンカを売らなくてもいいかもしれない。2人の言うように海外で自分を見つめ直すのも賛成。僕も海外放浪しました。アルバイトに



日本語禁止で学ぶ英語合宿

メール座談会参加者募集!

「国際結婚」大学院のいすけのテーマでメール座談会をしてみたい、という方を募集します。1月末までに広報室までメールでご連絡下さい。詳細をお送りします。
本紙に関するご意見、ご感想もお待ちしております。また、住所などに変更がありましたら、お手数ですが、広報室までご連絡下さい。
koto@hcu.ac.jp

1年生39名が奈良で英語合宿

合宿中は日本語禁止 国際大留学生別科生5名がアシスタント

滝井高

滝井高校グローバルコースの1学年次における行事として実施されている1泊2日の英語合宿がことしは10月27日、28日、奈良市のホテルニわかさで行われた。

参加したのはグローバルコース1年生B組の39名。生徒を英語のみの環境に置くことにより、英語運用能力や自己表現能力の更なる向上をはかるため、合宿中は日本語禁止で、すべて英語で会話。合宿では外国人教員の指導のもと、3班にわかれて会話形式のディスカッションやゲームのほか、全員で東大寺や奈良公園周辺を歩きながら英語クイズなどを進めた。また、国際大の留学生別科生5名もアシスタントとして参加し、すべての催しを生徒と一緒に楽しむ、大いに盛り上がった。

合宿に引率した国際交流主任の阪田あや子教諭は、「授業で習うよりも身につく効果的。今後で習うべき、日本語が使えないので厳しさがとても楽しい。ますます英語が相おもしろくなった」などの意見が相

国際大、女子大短大留学生 地元小学校へ続々派遣

国際大では、平成10年より枚方市教育委員会の国際交流プログラムに協力し、小学校に留学生を派遣し、異文化理解や英語教育に二役買っている(20号)紹介。今年度は、同プログラムによらない依頼も含め30回以上地元小学校を訪れる予定。

11月4日には関西外国語大学と合同で21名の留学生が枚方市立明倫小学校を訪れた。この日は6年生の「伝えよう日本の文化」の授業の成果を発表する日で、10グループにわかれ日本の生活や遊びなどを紹介。茶道や和太鼓の実践などで言葉の壁をこえた交流を行った。

また、女子大・短大にも、今年度地元小学校からの依頼が相次いでおり、11月21日には、守口市立大久保小学校を3名のモンゴル人留学生が訪れ、小学生たちと交流した。

同小学校では、インターネットの普及にとりまわりの子供たちが海外の人々と出会う機会が増えつつある中、日本の文化、政治、経済のことなどを聞かれたときにしっかりと自分の考えが述べられることを目指して、昨年からは「家庭科における国際理解の時間」を設定。まずは外国人の人々や文化に触れ、人間としての共通点や違いを理解し慣れ親しむため、留学生を招いて話をきくこととし、今回、本学留学生に声がかかった。

当日は、6年生3クラス合同の授業が体育館で行われた。授業参観の日でもあり保護者らの見守る中、留学生3名がスライドでモンゴルの文化や生活を紹介。モンゴルのゲームをしたり、民族服や簡単な言葉の紹介をし、モンゴルの生徒たちにも、小学生たちからの質問に答えた。

また、会場には第93中学校(ウラボルト市バヤンゴル区)の子供たちの絵を約40枚展示。本学国際交流部の学生3名も手伝いに参加し、モンゴル音楽のBGMが流れる中、なかなか雰囲気であったというまに時間が過ぎた。



小学生に民族衣装を着せる女子大留学生

国際大 シンポジウム 「外国人労働力」

大阪国際大学の国際関係研究所恒例の第13回国際シンポジウムが10月27日、大阪市中央区・日本綿業倶楽部(綿業会館)で開かれた。「21世紀の日本経済と外国人労働力」をメインテーマに3人の講師を招き、小学生に民族衣装を着せる女子大留学生

約130名の企業人らがこの切実な問題を聴き入った。

テーマと講師は、下記の通り

▽「出入国管理行政の観点から見た外国人労働者の受け入れ問題」 法務省大臣官房審議官 高橋恒三氏▽「外国人労働者の受け入れへの対応」 株式会社ニチエン化工代表取締役社長 郷 宗親氏▽「21世紀のアジア経済と国際労働力移動の課題」 日本が發揮すべきイニシアチブとは」 関西学院大学経済学部教授 井口 泰氏

国際関係研究所から講演理解の二助にと、メインテーマに沿った国の「移民政策」や実態などの資料を配布。高橋氏は、就労目的の在留資格のある外国人登録者数は約13万人だが、不法残留者らを加えたわが国で実際に働いている外国人総数は約70万人にのぼるのでは、と紹介。こうした状況を踏まえて、ことし3月に策定された法務省の第2次出入国管理基本計画であるが、2005年以降少子高齢化がさらに進み、労働力不足が顕在化すれば基本計画の見直しは必至で、すでに第3次基本計画に向けて検討を開始していると語られた。郷氏はなが年外国人労働者の問題に取り組みされており、外国人労働者を単に労働力とみなすだけでなく、よき隣人・パートナーとして認識を改めるよう強調。井口氏も日本における外国人労働者の実態と問題点に触れながら、「企業が外国人労働者を積極的に雇用し能力を發揮してもらうには、賃金や労働の平等など基本的問題について自己点検を」と結ばれた。

次ぎ好評を得ている。

英語合宿は、さまざまな活動を通じて普段の授業で身につけた英語運用能力を活用する機会を与え、生徒の英語への関心・興味を高めることなどを目的に、平成9年から行われており今年が4回目。これまで希望者だけの合宿だったが、今回はグローバルコースの選定として実施。国際大の留学生別科生が参加したのも今回が初めて。

アフリカ・マライウイから帰国の山本 博 係員(女子大・短大)

JICAからデータベース専門家として派遣 マライウイ湖研究のデータベース化、ホームページ化に尽力

国際大経営情報学部4期生で、現在在女子大・短大情報教育センター職員として多忙な日々を送る山本さんが、その腕を買われて、アフリカのマライウイ共和国へJICAのデータベース専門家として派遣された。8月6日から9月2日までの約1カ月間の滞在。帰国時には研究者たちから「ここまで成果をあげることができたのは、最大限の謝辞をもって送り出された。」

「マライウイ湖に関する総合的研究の成果をデータベース化し、ホームページで公開するためのお手伝いをさせていただきました。マライウイでは欧米など先進国からきて調査し、データを自分達の国に持って帰るといふ形の研究はされていても、マライウイ人にとつて自分達の湖についての研究が成果としては残っていない。そういう力をつけていくための研究協力です。実際にはこれまでのプロジェクトの2年半で蓄積されたものを再利用し、共有し、公開していくためにサーバーの機器構成を検討し、接続し、中身を話し合い、検索のしやすさを作りました」と帰国の弁。

以前からプロジェクトに参加していた阿部直哉氏(元短大助教、現大阪学院大教授)に声をかけられた時にはどう思ったのか。「やることを聞いてみると、物さへあれば自分にとっては難しい内容ではなく、情報処理の技術が勉強で

と部の上流階級で構成されているのだ」とのこと。

「しかし、僕が行ったマライウイ大学はそれの上流階級しか行けないような唯一の国立大学ですが、情報のインフラという面では貧しかったですね。情報化が必要とは思っていても、大学に予算がない

の見直しは必至で、すでに第3次基本計画に向けて検討を開始していると語られた。郷氏はなが年外国人労働者の問題に取り組みされており、外国人労働者を単に労働力とみなすだけでなく、よき隣人・パートナーとして認識を改めるよう強調。井口氏も日本における外国人労働者の実態と問題点に触れながら、「企業が外国人労働者を積極的に雇用し能力を發揮してもらうには、賃金や労働の平等など基本的問題について自己点検を」と結ばれた。

「操作説明は英語で。父親の仕事の関係で小学5年から中学1年までインドに住んでいたため、人種の違う人たちとコミュニケーションをとるのに抵抗はない、間違つてもいいやという変な度胸はあります」と笑う。

滞在中印象的だったのはマライウイの研究者たちのプロジェクトに取り組み姿勢だということ。

「プロジェクトの目的を全員が理解してとつても協力的だったこと。研究者は自分のしたい研究が第1となりがちだと思うんですが、彼らは「自分も研究者だから、研究者にとつて」という環境がベストかわかるし、そういう環境作りをしたい」と言う。積極的な姿勢さへあれば、そしてそういう人々のマンパワーが集約されれば、予想以上の成果を生み出すことができる、という経験ができた。参加できたのはラッキーでした」と自らにとつての成果をう振りかざる。

化に比べ、人間としての共通点や違いを理解し慣れ親しむため、留学生を招いて話をきくこととし、今回、本学留学生に声がかかった。

当日は、6年生3クラス合同の授業が体育館で行われた。授業参観の日でもあり保護者らの見守る中、留学生3名がスライドでモンゴルの文化や生活を紹介。モンゴルのゲームをしたり、民族服や簡単な言葉の紹介をし、モンゴルの生徒たちにも、小学生たちからの質問に答えた。

また、会場には第93中学校(ウラボルト市バヤンゴル区)の子供たちの絵を約40枚展示。本学国際交流部の学生3名も手伝いに参加し、モンゴル音楽のBGMが流れる中、なかなか雰囲気であったというまに時間が過ぎた。

「マライウイ湖に関する総合的研究の成果をデータベース化し、ホームページで公開するためのお手伝いをさせていただきました。マライウイでは欧米など先進国からきて調査し、データを自分達の国に持って帰るといふ形の研究はされていても、マライウイ人にとつて自分達の湖についての研究が成果としては残っていない。そういう力をつけていくための研究協力です。実際にはこれまでのプロジェクトの2年半で蓄積されたものを再利用し、共有し、公開していくためにサーバーの機器構成を検討し、接続し、中身を話し合い、検索のしやすさを作りました」と帰国の弁。

以前からプロジェクトに参加していた阿部直哉氏(元短大助教、現大阪学院大教授)に声をかけられた時にはどう思ったのか。「やることを聞いてみると、物さへあれば自分にとっては難しい内容ではなく、情報処理の技術が勉強で

と部の上流階級で構成されているのだ」とのこと。

「しかし、僕が行ったマライウイ大学はそれの上流階級しか行けないような唯一の国立大学ですが、情報のインフラという面では貧しかったですね。情報化が必要とは思っていても、大学に予算がない

の見直しは必至で、すでに第3次基本計画に向けて検討を開始していると語られた。郷氏はなが年外国人労働者の問題に取り組みされており、外国人労働者を単に労働力とみなすだけでなく、よき隣人・パートナーとして認識を改めるよう強調。井口氏も日本における外国人労働者の実態と問題点に触れながら、「企業が外国人労働者を積極的に雇用し能力を發揮してもらうには、賃金や労働の平等など基本的問題について自己点検を」と結ばれた。

「操作説明は英語で。父親の仕事の関係で小学5年から中学1年までインドに住んでいたため、人種の違う人たちとコミュニケーションをとるのに抵抗はない、間違つてもいいやという変な度胸はあります」と笑う。

滞在中印象的だったのはマライウイの研究者たちのプロジェクトに取り組み姿勢だということ。

「プロジェクトの目的を全員が理解してとつても協力的だったこと。研究者は自分のしたい研究が第1となりがちだと思うんですが、彼らは「自分も研究者だから、研究者にとつて」という環境がベストかわかるし、そういう環境作りをしたい」と言う。積極的な姿勢さへあれば、そしてそういう人々のマンパワーが集約されれば、予想以上の成果を生み出すことができる、という経験ができた。参加できたのはラッキーでした」と自らにとつての成果をう振りかざる。

「マライウイ湖に関する総合的研究の成果をデータベース化し、ホームページで公開するためのお手伝いをさせていただきました。マライウイでは欧米など先進国からきて調査し、データを自分達の国に持って帰るといふ形の研究はされていても、マライウイ人にとつて自分達の湖についての研究が成果としては残っていない。そういう力をつけていくための研究協力です。実際にはこれまでのプロジェクトの2年半で蓄積されたものを再利用し、共有し、公開していくためにサーバーの機器構成を検討し、接続し、中身を話し合い、検索のしやすさを作りました」と帰国の弁。

以前からプロジェクトに参加していた阿部直哉氏(元短大助教、現大阪学院大教授)に声をかけられた時にはどう思ったのか。「やることを聞いてみると、物さへあれば自分にとっては難しい内容ではなく、情報処理の技術が勉強で

と部の上流階級で構成されているのだ」とのこと。

「しかし、僕が行ったマライウイ大学はそれの上流階級しか行けないような唯一の国立大学ですが、情報のインフラという面では貧しかったですね。情報化が必要とは思っていても、大学に予算がない

の見直しは必至で、すでに第3次基本計画に向けて検討を開始していると語られた。郷氏はなが年外国人労働者の問題に取り組みされており、外国人労働者を単に労働力とみなすだけでなく、よき隣人・パートナーとして認識を改めるよう強調。井口氏も日本における外国人労働者の実態と問題点に触れながら、「企業が外国人労働者を積極的に雇用し能力を發揮してもらうには、賃金や労働の平等など基本的問題について自己点検を」と結ばれた。

「操作説明は英語で。父親の仕事の関係で小学5年から中学1年までインドに住んでいたため、人種の違う人たちとコミュニケーションをとるのに抵抗はない、間違つてもいいやという変な度胸はあります」と笑う。

滞在中印象的だったのはマライウイの研究者たちのプロジェクトに取り組み姿勢だということ。

「プロジェクトの目的を全員が理解してとつても協力的だったこと。研究者は自分のしたい研究が第1となりがちだと思うんですが、彼らは「自分も研究者だから、研究者にとつて」という環境がベストかわかるし、そういう環境作りをしたい」と言う。積極的な姿勢さへあれば、そしてそういう人々のマンパワーが集約されれば、予想以上の成果を生み出すことができる、という経験ができた。参加できたのはラッキーでした」と自らにとつての成果をう振りかざる。

「マライウイ湖に関する総合的研究の成果をデータベース化し、ホームページで公開するためのお手伝いをさせていただきました。マライウイでは欧米など先進国からきて調査し、データを自分達の国に持って帰るといふ形の研究はされていても、マライウイ人にとつて自分達の湖についての研究が成果としては残っていない。そういう力をつけていくための研究協力です。実際にはこれまでのプロジェクトの2年半で蓄積されたものを再利用し、共有し、公開していくためにサーバーの機器構成を検討し、接続し、中身を話し合い、検索のしやすさを作りました」と帰国の弁。

以前からプロジェクトに参加していた阿部直哉氏(元短大助教、現大阪学院大教授)に声をかけられた時にはどう思ったのか。「やることを聞いてみると、物さへあれば自分にとっては難しい内容ではなく、情報処理の技術が勉強で

と部の上流階級で構成されているのだ」とのこと。

「しかし、僕が行ったマライウイ大学はそれの上流階級しか行けないような唯一の国立大学ですが、情報のインフラという面では貧しかったですね。情報化が必要とは思っていても、大学に予算がない

の見直しは必至で、すでに第3次基本計画に向けて検討を開始していると語られた。郷氏はなが年外国人労働者の問題に取り組みされており、外国人労働者を単に労働力とみなすだけでなく、よき隣人・パートナーとして認識を改めるよう強調。井口氏も日本における外国人労働者の実態と問題点に触れながら、「企業が外国人労働者を積極的に雇用し能力を發揮してもらうには、賃金や労働の平等など基本的問題について自己点検を」と結ばれた。

「操作説明は英語で。父親の仕事の関係で小学5年から中学1年までインドに住んでいたため、人種の違う人たちとコミュニケーションをとるのに抵抗はない、間違つてもいいやという変な度胸はあります」と笑う。

滞在中印象的だったのはマライウイの研究者たちのプロジェクトに取り組み姿勢だということ。

「プロジェクトの目的を全員が理解してとつても協力的だったこと。研究者は自分のしたい研究が第1となりがちだと思うんですが、彼らは「自分も研究者だから、研究者にとつて」という環境がベストかわかるし、そういう環境作りをしたい」と言う。積極的な姿勢さへあれば、そしてそういう人々のマンパワーが集約されれば、予想以上の成果を生み出すことができる、という経験ができた。参加できたのはラッキーでした」と自らにとつての成果をう振りかざる。